

# 寺院における感染予防

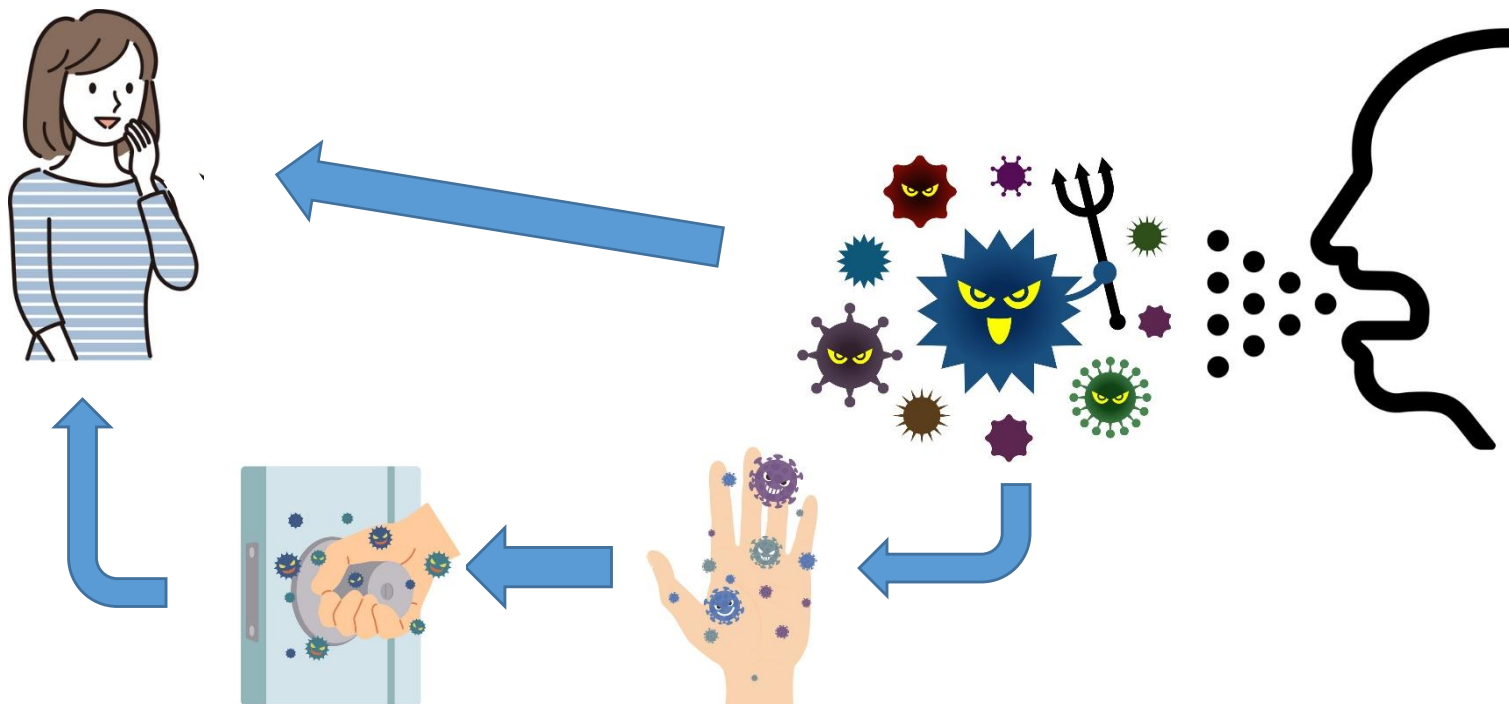
日蓮宗同心会  
日蓮宗静岡県東部宗務所

# ウイルス感染の原因

どうして感染するの？



感染の原因 ⇒ 感染者の口からの**飛沫**や**糞尿**に直接・間接に触り、  
その手で自分の粘膜に触れることから感染する。



# どんな時に感染する？

## ① 飛沫がたくさんかかる例

大声で会話



近距離で会話

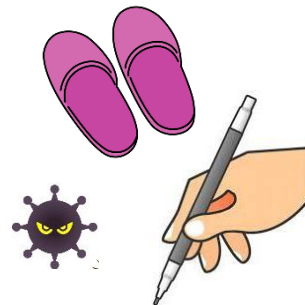


飲食しながら会話



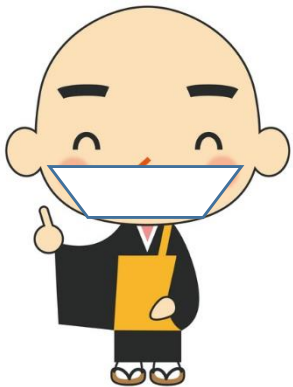
## ② 飛沫の付いた物を触った時

他人の飛沫の付いたものに触った時

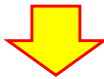


# 感染の予防策

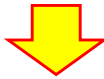
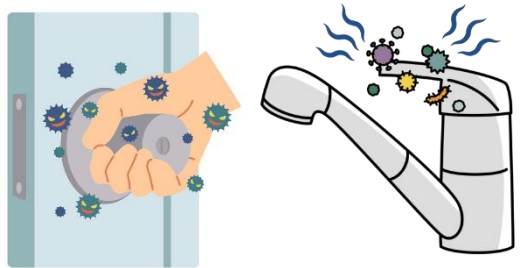
①話す時にはマスク



②あまり近づかない



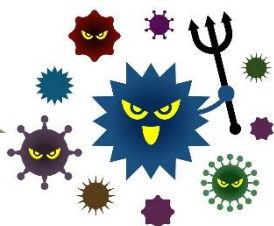
③触ったら手洗い・消毒



# 寺院における感染予防の対応指針

僧侶・寺族  
檀信徒・参拝者  
寺に集まる者  
その中にコロナ感染者が  
いると考える

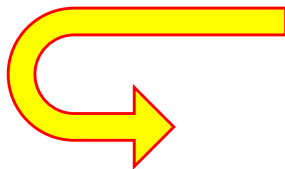
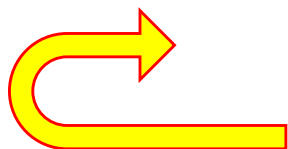
檀信徒・参拝者から僧侶・寺族へ  
僧侶・寺族から檀信徒・参拝者へ  
檀信徒・参拝者から他の檀信徒・参拝者へ  
ウィルスをうつさせない方策を考える



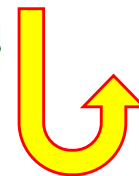
僧侶



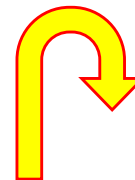
寺族



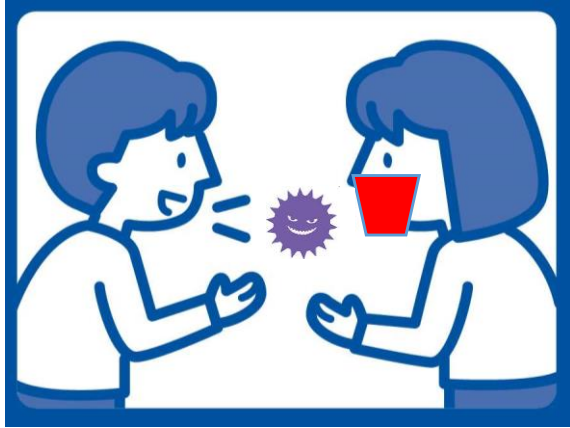
檀信徒・参拝者



檀信徒・参拝者



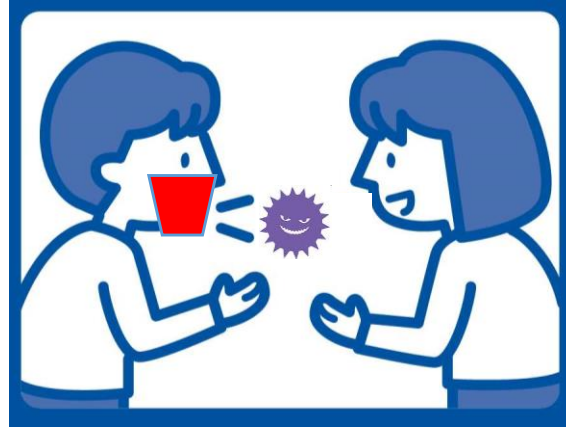
# 距離50cmでの通常の声での会話におけるマスクの感染予防効果



話を聞く人が  
マスクをしている場合

布マスクの場合  
**17%**の  
ウィルスをブロック

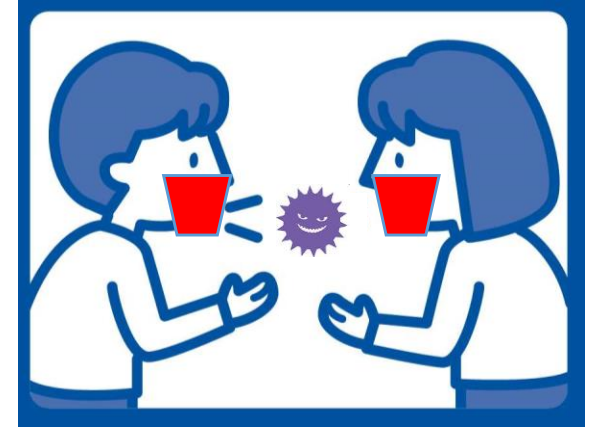
不織布マスクの場合  
**47%**の  
ウィルスをブロック



話をする人が  
マスクをしている場合

布マスクの場合  
**76%**の  
ウィルスをブロック

不織布マスクの場合  
**73%**の  
ウィルスをブロック



話をする人  
話を聞く人 両方が  
マスクをしている場合

布マスクの場合  
**80%**の  
ウィルスをブロック

不織布マスクの場合  
**85%**の  
ウィルスをブロック

# マスクの使い方

市販のマスクの目的は、自らの飛沫の放出を抑えること。  
不織布や布マスクは、飛沫放出防止には有効である。  
近距離でも自分の口から出て相手に届くウィルスを  
70%以上を減らすことができる。

不織布や布マスクは、**他人からの感染予防の効果は限定的。**

しゃべる側・聞く側**両方がマスクをつけることが最も効果的。**



感染を防ぐには？

**会話・法要等、声を出す時は必ずマスクをつける  
聞く人もマスクをつける**



## マスク・フェイスシールド・マウスシールドの機能について

### マスク



- マスクの目的は、自らの飛沫の放出を抑えることである。不織布や医療用マスクのように効果の高いものから、布マスクまで、完ぺきではないが、かなり**飛沫放出防止には有効である**。
- 人からの感染を防ぐためのものとしては、医療用マスクを除き、効果は薄いと言われる。ただし、顔を手で触る回数を減らすことでの口鼻眼の粘膜を通しての接触感染のリスクを減らす効果がある。

### フェイスシールド

- 本来は医療現場で、医療従事者が患者からの飛沫を顔に浴びないようにするために、**マスクと併用して**、使われる。
- 周囲にどれだけすき間があるかにもよるが、**単体での使用は飛沫を飛ばさない効果は薄く、避けることが望ましい**。



### マウスシールド



- マウスシールド導入の目的は「表情を見やすくすること」すなわち、透明のマスクとして使うことを想定していた。
- そこに夏場の暑さ対策から「呼吸しやすさ」が加わり、本来の目的が曖昧となり、開口部分が大きくなった。これでは大声や小さい飛沫の放出防止には役に立たず、**近距離や大声での使用は危険であるので、法要・祈祷等での使用を避ける**。

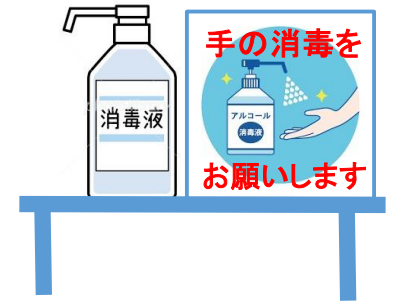


# 葬儀・法事・行事における感染予防策

入口にアルコール  
消毒液



入り口の正面に**分かる形で  
設置**。消毒をお願いする  
「**看板**」も必要！



待合場所の  
換気・消毒

1グループの法事が終わったら、人が触るドアノブ・  
テーブル・椅子を消毒し、換気する。難しい場合は  
別の部屋を使う。



庫裡・客殿・本堂  
飲食禁止

飲食しながらの会話は多くの飛沫  
が飛ぶので、茶菓の提供は控える。  
特に**飲食でのアルコールは厳禁**。



参拝者へのお願いの  
掲示を各所に置く

参拝の皆さまへお願い

客殿・トイレ・本堂内では  
マスク着用をお願いいた  
します。



参拝の皆さまへお願い

他の方へ飛沫が飛ばな  
いよう、ご注意ください。



参拝の皆さまへお願い

お帰りの際にも、  
手指の消毒を  
お願いします。



# 墓参・参拝する方への感染予防策



## 各所の消毒

床面に飛んだ飛沫のウィルスを除去するためには、除菌スプレーの散布や掃き掃除・掃除機での吸い取りだけでなく、**拭き掃除**を推奨します。消毒液を全面に塗布することに、ウィルス除去の効果があります。頻繁な拭き掃除が難しい場所は、3日以上換気を良くして放置すれば、ほとんどのウィルスは活力を失います。(畳・絨毯・フローリング共通)



## 墓参の時の 桶・柄杓の消毒

使用後の桶・柄杓は使いまわしせず、水で洗い流す。参拝者に使用した桶や柄杓、触った蛇口や井戸を流水で消毒することをお願いする。

\* 流水でもかなりの程度のウィルス除去の効果があります。



## 参拝者へのお願いの 掲示を各所に置く

### 参拝の皆さまへお願い

桶や水道の蛇口をご使用後、水をかけて下さい。



### 参拝の皆さまへお願い

使用済みのマスクはお持ち帰りください。



### 参拝の皆さまへお願い

寺内で人と話す時は、マスク着用をお願いします。



# 本堂内の感染予防策/参列者

使いまわしは避ける



回し焼香は避ける。



参列者への経本配布



経本の使いまわしは避け、  
使い切りのコピーを配布。



各席へ予め  
準備しておく

何も触らない  
触ったら消毒



本堂内の物にできる限り手で  
触らないことをお願いします。



入堂時・退堂時には  
手指消毒をお願いします。

読経はマスクで小声



入堂者は全員マスク着用  
参列者の読経・唱題は  
マスクをして、小声または心読を  
お願いします。(唱題行を含む)

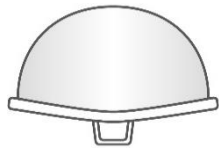
# 本堂内の感染予防策/僧侶①

×⇒推奨できない    ○⇒推奨できる  
△⇒換気が良い環境が必要

## 通常法要



- 読経の時は大声を出すため、周囲の人間とは距離を保つ必要がある。通常の会話で必要とされる2m以上の間隔が必要である。
- 基本的に**マスク着用**。屋内での声の大きい読経では、マウスシールドは使用しない。屋外で一定の2m以上の距離がある場合は、マウスシールドの使用も可能。
- 屋内でフェイスシールドを使用する場合、他人との距離を2m以上とることが必要。
- 飛沫を飛ばさないマスクの代用品も選択肢に入る。
- 大声を出さないための、**マイク**の使用が推奨される。

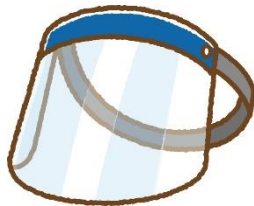


マウスシールド

屋内での使用(式衆・参列者と近距離)⇒ **×**

屋内での使用(式衆・参列者と2m以上離れる)⇒ **△**

屋外での使用(式衆・参列者と2m以上離れる)⇒ **○**



フェイスシールド

屋内での使用(式衆・参列者と近距離)⇒ **△**

屋内での使用(式衆・参列者と2m以上離れる)⇒ **○**

屋外での使用(式衆・参列者と2m以上離れる)⇒ **○**

マスクとの併用⇒ **◎** 有効



## 本堂内の感染予防策/僧侶②

### 法話



- 法話では**マスクを着用**。換気の悪い屋内での法話では、マウスシールドは使用しない。法話者と聞法者の距離が2m以上あり、換気も十分な室内であれば、マウスシールドの使用も可能。
- 屋内でフェイスシールドを使用する場合、他人との距離を2m以上とることが必要。
- 飛沫を飛ばさないマスクの代用品も選択肢に入る。大声を出さないための、**マイク**の使用が推奨される。

\* マウスシールドやフェイスシールドの使用に関しては、通常法要の使い方と同じ。

### 唱題行



- 僧侶・信徒、参加者全員**マスク着用**が原則。
- 大声での唱題は控え、小声で唱題。
- 換気が悪い場合は、マウスシールド・フェイスシールドは使用しない。
- 大声を出さないための、**マイク**の使用が推奨される。



## 本堂内の感染予防策/僧侶③

### 祈祷



- 基本的に**マスク着用**。信徒と向き合い、距離も近く、声が大きくなるため、マウスシールドは使用しない。
- 屋外であっても、信徒と向き合う時は、マウスシールドは使用しない。屋外で信徒と向き合わず、距離がある場合は、マウスシールドの使用も可能。
- 飛沫を飛ばさないためのマスクの代用品を考える。
- 大声を出さないための**マイク**の使用も検討する。
- 依頼者に飛沫感染予防の協力が望めない場合は、依頼者からの飛沫感染を防ぐため、フェイスシールドの使用も必要である。
- 撰経をあてる時は、声を出すことを控えるか、**小声**で行う。また、祈祷の前後に手指の消毒を行う。

\* 大声で多くの飛沫を飛ばす祈祷では、開口部分の大きいマウスシールドやフェイスシールドのみの使用は飛沫感染の危険が高いため、使用を推奨できない。



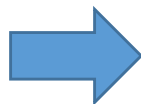
法楽加持



撰経あて

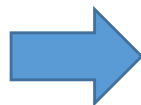
× ⇒ 推奨できない    ○ ⇒ 推奨できる  
△ ⇒ 換気が良い環境が必要

声大きい  
信徒との距離が近い  
対面している

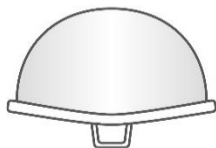


飛沫感染の危険性が高い

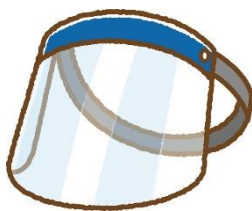
信徒と接触している  
近くで声を出している



接触感染・飛沫感染の  
危険性が高い



マウスシールド



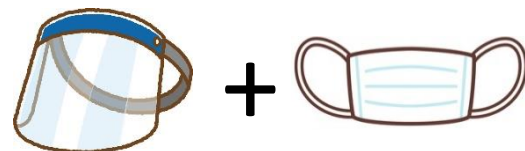
フェイスシールド

参列者と近距離または対面での使用 ⇒ ×

屋内での使用(参列者と対面ではなく2m以上離れる) ⇒ △

屋外での使用(参列者と対面ではなく2m以上離れる) ⇒ ○

\* 祈願者がマスクをしていない場合には、フェイスシールドとマスクを併用して祈願者の飛沫を浴びることを防ぐ



# 本堂内の感染予防策/寺側

マスク不携帯の方用  
予備のマスクを用意



入堂者用の  
消毒液・マスク



本堂入口に入堂時・退堂時の  
手指用の消毒液を設置

参拝者が触る物の  
消毒



アルコール又は薄めた塩素系漂白剤・家庭用洗剤を含んだ布で  
表面を拭く。(噴霧すると効果が減るので、拭くことが必要)  
1グループが退席し、次のグループが入堂する前に消毒する  
ことが理想。

床面の消毒

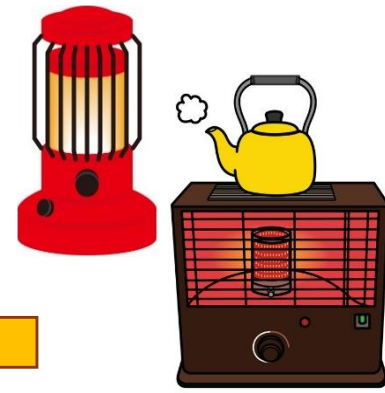
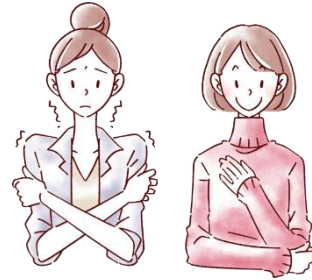


床や廊下には飛沫が付着しているため、  
手だけでなく、足にもウィルスが付着する  
可能性があり、その足を手で触ることで、  
そこから感染する。

畳・床面は掃除機だけでなく、アルコールで拭き掃除がお勧め



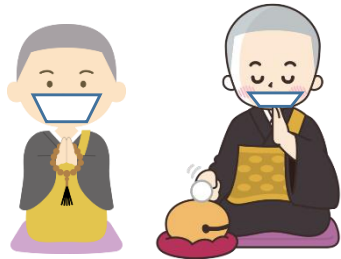
# 寒くて換気がむずかしい本堂での法要



換気が難しい時は、他の予防策で補完する



入堂前の  
消毒・検温

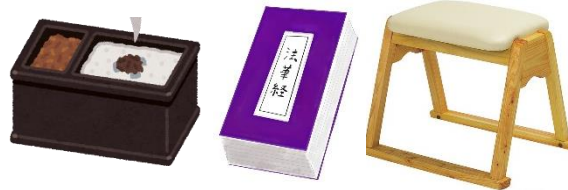


僧侶もマスク着用

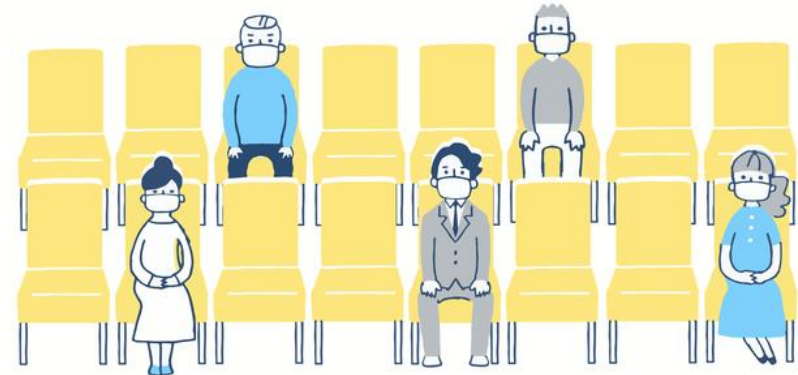


寒気に耐えられるよう  
屋内でもコート着用

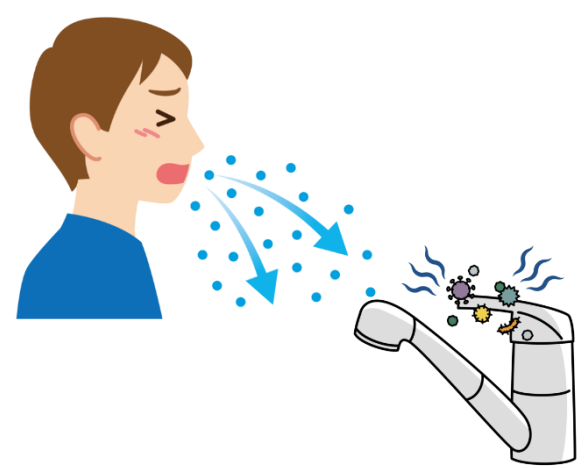
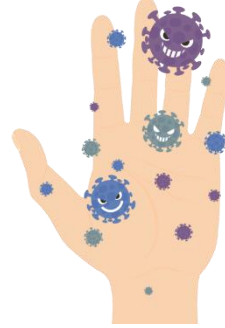
入堂する全員マスク着用  
入堂する人数を半分以下に



仏具・経本等触る物は  
すべて除菌消毒

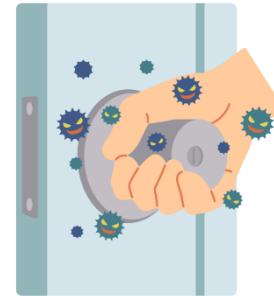


# トイレに気をつける



ウィルスは人の飛沫・糞尿に触り、  
その手で自分の目鼻の粘膜を  
触ることで感染します。  
その可能性が高いのがトイレです。

便器だけでなく、壁・床、さらに危険なのが  
トイレのドアノブ。人が触る所はすべて  
接触感染の危険があります。



トイレの中はウィルスだらけと考える。

こまめに清掃・消毒。

極力どこにも触らない。

トイレを出る時は必ず手洗い。





TOILET

トイレでの感染予防 → 接触感染を防ぐ

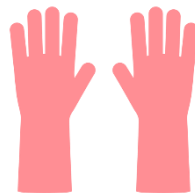
トイレをこまめに拭き掃除。

参拝者と僧侶・寺族が  
同じトイレを使わない。



参拝者と僧侶・寺族の間の  
接触感染を防ぐ

除菌スプレーだけでなく  
拭き掃除が必要。



掃除の時は  
必ず手袋！



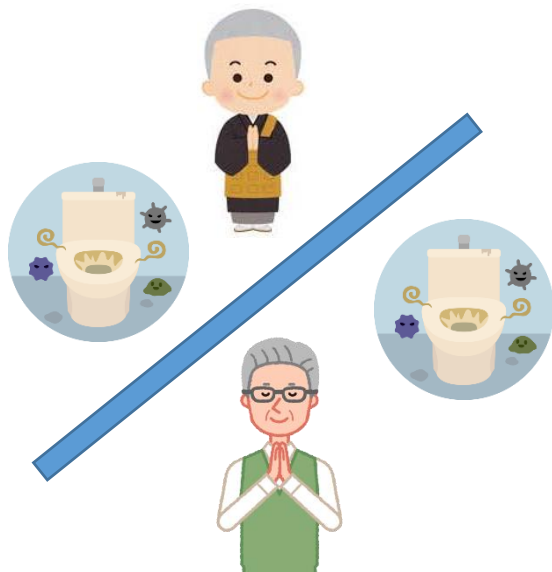
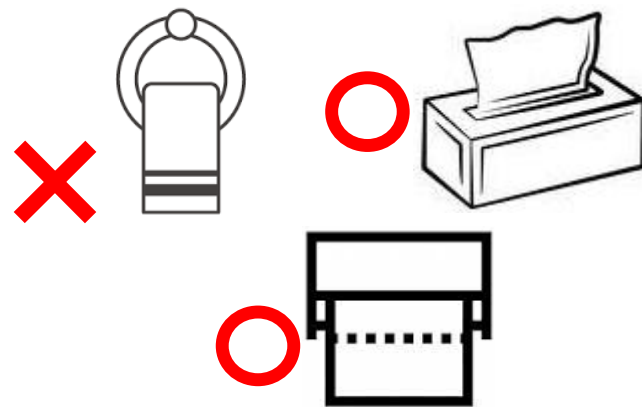
スリッパはこまめに消毒



手洗い場には除菌用  
ハンドソープを設置



タオルは使い捨てタオルを





TOILET

トイレでの感染予防 → 使用する人に協力してもらおう！

例えばの  
張り紙

参拝の皆さまへお願い

男性も座ってご利用ください



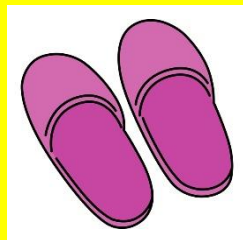
参拝の皆さまへお願い

水を流す時は、便座のふたを  
閉めてください。



参拝の皆さまへお願い

トイレ内ではスリッパを  
履いてください



参拝の皆さまへお願い

トイレを出る時は、  
必ず手を洗ってください。



# 消毒剤の使用法

## 次亜塩素酸水

消毒する面を次亜塩素酸水でびしょびしょに濡らして、20秒たってから拭き取る



## 次亜塩素酸ナトリウム (塩素系漂白剤)

0.05%に薄めて拭いた後、水拭きする



## 界面活性剤 (家庭用洗剤)

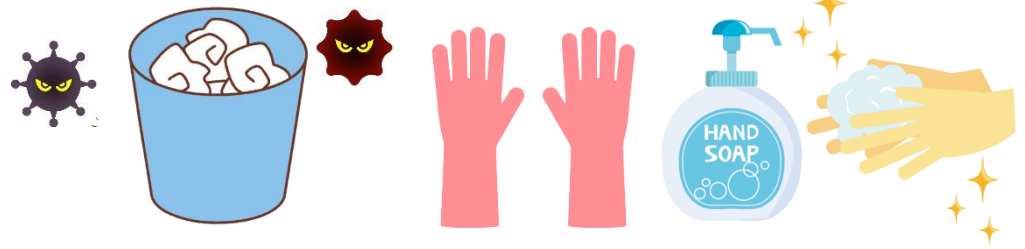
そのまま、または薄めて拭く

## アルコール (エタノール)

濃度70%～95%のエタノールで拭く

(注)次亜塩素酸水・次亜塩素酸ナトリウム等の消毒剤の空間噴霧は人体への影響を考えると推奨できません。

ゴミの回収、仕分け  
搬出はどうすればいい？



参拝者が触った物には基本的に  
ウイルスが付着していると考える。



ゴミを片付ける時は**手袋着用**  
終わったら**手洗い**  
**ゴミ箱の消毒**

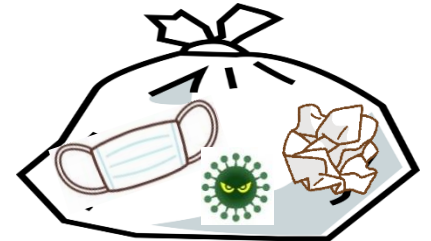
ウイルスが含まれる飛沫・鼻水が  
付着した物に注意する。



マスクやティッシュペーパーのゴミは分けて  
捨ててもらおう。搬出時、袋はしっかりしぼる



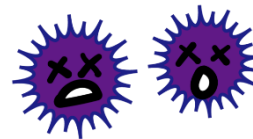
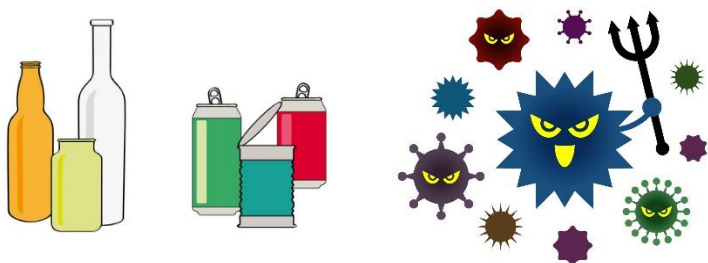
マスクやティッシュ  
ペーパーのゴミ用  
の袋を用意してお  
くことも一案



ほとんどのウイルスは3日以上  
外気にさらすと活動力を失う。



ペットボトルやビン・罐は2~3日放置してか  
ら搬出すると受け取る清掃事務所も安全😊



## 檀信徒宅での予防策

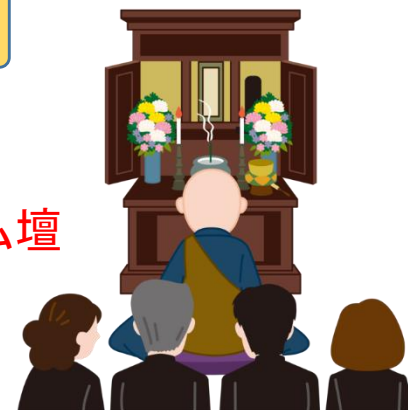
訪問前に手指消毒  
マスクをして訪問



檀信徒のお宅に入る前に  
手指消毒とマスク着用は、  
檀信徒を想う最低限の行為。

読経中マスクをはずさない

読経は多くの飛沫を飛ばす。  
自分の飛沫を、檀信徒宅の仏壇  
家具にまき散らないために  
マスクを外さないように！！  
マウスシールドやフェイス  
シールドの使用は控える。



檀信徒にもマスクをお願いする

茶菓飲食は遠慮  
マスクを外して話さない

飲食中の話は  
多くの飛沫を飛ばす。  
お茶を飲んだり、  
お菓子を食べる時は  
話をしないように気をつける。



話す側・聞く側**双方がマスクを**  
すると感染予防の効果が上がる。



『寺院における感染予防』の作成・配布目的は、各寺院が寺における感染予防策を講じ、寺の安全性を発信し、檀信徒に参拝を勧めることを可能にすることです。本冊子で提示した予防策をすべて行っても、100%感染を予防できるわけではありません。しかし、これら予防策の積み重ねが教師・寺族・参拝者の感染の危険を軽減し、寺の安全性を高めることにつながります。人が集まる寺院の感染予防を行うことは、寺院の社会的責任であり、また各寺院の布教活動の活性化の土台となります。各寺院には、一つでも多くの感染予防策を行っていただくことをお願いいたします。最後に、本対策集作成にあたって、ご指導を頂いた静岡県賀茂保健所に感謝を申し上げます。

日蓮宗同心会

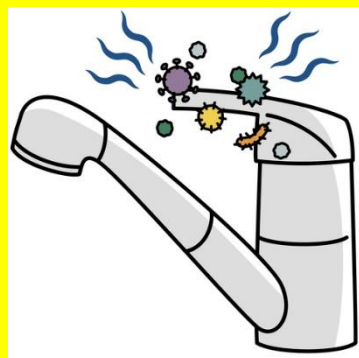
日蓮宗静岡県東部宗務所



庫裡・客殿の張り紙にお使ください。

## 参拝の皆さまへお願い

ウィルスがついているか  
もしれません。  
こまめに手指を消毒して  
ください。



## 参拝の皆さまへお願い

発熱・せき等  
ご気分の優れない方は  
参列をお控えください。



庫裡・客殿の張り紙にお使ください。

## 参拝の皆さまへお願い

飲食しながらの会話は  
控えてください。  
話す時は必ずマスクを着  
けましょう。



## 参拝の皆さまへお願い

感染予防のため  
換気を心がけています。  
ご理解をお願いします。





トイレの張り紙にお使いください。

参拝の皆さまへお願い

トイレ内ではスリッパを履いてください。



参拝の皆さまへお願い

トイレを出る時は手を洗ってください。





トイレの張り紙にお使いください。

## 参拝の皆さまへお願い

男性も座って  
ご利用ください。



## 参拝の皆さまへお願い

水を流す時は、便座の  
ふたを閉めてください。



本堂入り口の張り紙にお使ください。

## 参拝の皆さまへお願い

本堂内ではマスク着用を  
お願いします。



## 参拝の皆さまへお願い

本堂へお入りの時は  
手指の消毒をお願い  
します。



庫裡・客殿入り口の張り紙にお使いください。

参拝の皆さまへお願い

お話をする時はマスク  
着用をお願いします。



参拝の皆さまへお願い

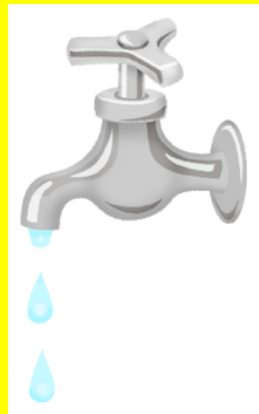
使用済みのマスクは  
お持ち帰りください。



墓地入り口・寺出口の張り紙にお使ください。

## 参拝の皆さまへお願い

桶や水道の蛇口を  
ご使用後、水をかけて、  
洗い流して下さい。



## 参拝の皆さまへお願い

お持ち帰りの際にも手指  
の消毒をお願いします。

